

世界史 A

(解答番号 ~)

第1問 世界史上の国家の再編や建設について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 27)

A 第二次世界大戦後、欧米の植民地帝国は植民地の独立の動きに直面し、①国家の再編を迫られることになる。アフリカ大陸にとりわけ多くの植民地を抱えていたフランスも、例外ではない。戦争中の1944年1月に開催されたブラザヴィル会議は、植民地の自治拡大を認めはしたが、独立については否定した。②ファシズムからの解放を経て成立した第四共和政のフランスもまた、「フランス連合」を掲げて、植民地支配を継続した。植民地支配を、文明化という使命感でとらえていた当時のフランス人にとって、植民地の③独立運動は、その使命への反逆と映った。旧宗主国におけるこのような帝国意識は、容易には解消されなかった。

問1 下線部①に関連して、第二次世界大戦後に起こった国家や地域の再編について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ソ連が、バルト三国を併合した。
- ② アイルランド自由国が成立した。
- ③ アフリカ統一機構が成立した。
- ④ オスマン帝国が、セーヴル条約で、領土の縮小を余儀なくされた。

問 2 下線部②に関連して、ファシズムの伸張やその背景について述べた次の文 a～c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

- a ヒトラーが、政権を掌握した。
- b ムッソリーニが、政権を獲得した。
- c アメリカ合衆国から、世界恐慌が始まった。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問 3 下線部③に関連して、20 世紀の抵抗運動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① ベトナム独立同盟が、アメリカ合衆国への抵抗運動を行った。
- ② 清による鉄道国有化に対して、反対運動が起こった。
- ③ チャーチルが、自由フランス政府(自由フランス)を組織した。
- ④ モンゴルでは、抗日民族統一戦線が結成された。

世界史A

- B ④ スペイン人征服者がアメリカ大陸に渡った後、長期にわたりスペインの支配下にあったラテンアメリカ地域は、19世紀初頭に独立へと向かった。植民地生まれの白人である が、指導権を掌握し、現地の権力者となると、スペインからの独立運動を推進することとなった。南米北部のコロンビアやベネズエラの独立を指導した は、その代表例である。しかし、独立を遂げた後のラテンアメリカ諸国は、次第にアメリカ合衆国の政治的影響下に置かれるようになっていった。 ⑤ 20世紀後半になると、冷戦構造がこれらの国家の方向性を左右する事例が増えた。

問 4 文章中の空欄 と に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アーメスティーソ イーシモン=ボリバル
- ② アーメスティーソ イーゲバラ
- ③ アークリオーリョ イーシモン=ボリバル
- ④ アークリオーリョ イーゲバラ

問 5 下線部④に関連して、ヨーロッパ人による探検活動について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a コロンブスは、大西洋を西に向かって、カリブ海に到達した。
- b アメリゴ=ヴェスプッチは、アフリカ大陸を探検した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

問 6 下線部⑤に関連して、冷戦期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 鄧小平が、文化大革命を起こした。
- ② アメリカ合衆国が、ワルシャワ条約機構を結成した。
- ③ フルシチョフが、ペレストロイカを開始した。
- ④ 東ドイツが、ベルリンの壁を築いた。

世界史A

C ロシア皇帝アレクサンドル2世は、⑥クリミア戦争における敗北を一因として、⑦「大改革」と呼ばれる一連の改革政策に着手した。その一方で、多様な階級の出身者や若年層が知識人層(インテリゲンツィア)に加わると、それまで貴族層を中心としていた知識人層にも、皇帝主導の改革に飽き足らず、革命により体制そのものを変革しようとする傾向が目立ち始めた。このような社会情勢の下、内務大臣ロリス=メリコフは、改革への意欲を次第に失いつつあった皇帝に対し、⑧国民代表による立法への参加に道を開く改革草案を認めさせようとする。しかし急進的な革命家が皇帝を暗殺したために、この草案は実現しなかった。

問 7 下線部⑥に関連して、19世紀以降の戦争やその結果について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 清仏戦争後、フランス領インドシナ(インドシナ連邦)が成立した。
- ② アメリカ=スペイン戦争(米西戦争)で、スペインが勝利した。
- ③ 第1次バルカン戦争の結果、バルカン諸国間の友好関係が強化された。
- ④ スペイン内戦の結果、人民戦線政府が成立した。

問 8 下線部⑦について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 農奴解放令を発布した。
- ② ブレスト=リトフスク条約を締結した。
- ③ 神聖同盟の結成を呼び掛けた。
- ④ 首都ペテルブルク(サンクト=ペテルブルク)を建設した。

問 9 下線部⑧に関連して、世界史上の政治制度の変化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アテネでは、紀元前7世紀に、直接民主政が確立した。
- ② フランスでは、18世紀に、国民公会が招集された。
- ③ イギリスでは、19世紀に、保守党と労働党の二大政党制が成立した。
- ④ 韓国では、20世紀に、朴正熙が初代大統領となった。

世界史A

第2問 食糧の獲得や確保への努力は、人類の歴史の大きな原動力であった。世界史上の農耕や農作物について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 31)

A ①原産地から他地域に広く伝播した作物の一つに、ウリ科の代表的な果物であるスイカ(西瓜)がある。南部アフリカ原産のスイカは、果肉に多量の水分を含む上、高温多照を好み、運搬や保存に適しており、②中央アジアの乾燥地帯でも広く栽培された。9世紀には、ホラズム地方から③アッバース朝のカリフにスイカが献上されたとされている。また、④世界分割を進めつつあった列強による中央アジア探検の際に敦煌で発見された10世紀の書簡には、贈り物としてトゥルファンからスイカを送ったことが記されている。

問1 下線部①に関連して、作物の原産地とその伝播について述べた次の文中の空欄 と に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

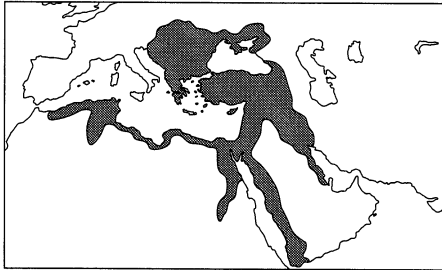
原産のトウモロコシは、やせた土地や山間部での栽培に適していたので、中国でもたちまち普及し、 代の人口増を支えた。

- ① アーアメリカ大陸 イー唐 ② アーアメリカ大陸 イー清
③ アー西アジア イー唐 ④ アー西アジア イー清

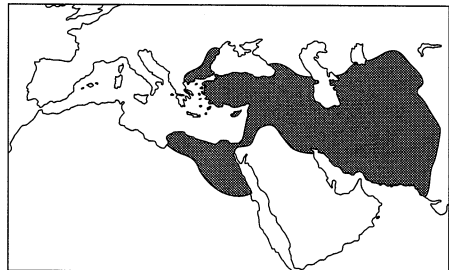
問2 下線部②について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 毛皮の産地であり、ヨーロッパや中国に輸出された。
② 鉄器は用いられなかったが、石造建築が発達した。
③ オアシス都市を結んで、東西貿易が発達した。
④ 金と岩塩とを交換する貿易で栄えた。

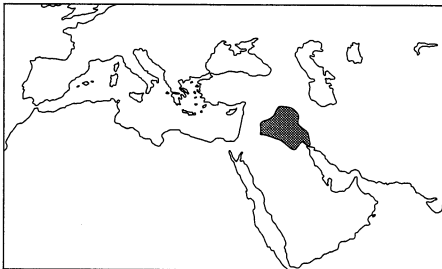
問 3 下線部③の王朝の最大版図を示した地図として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12



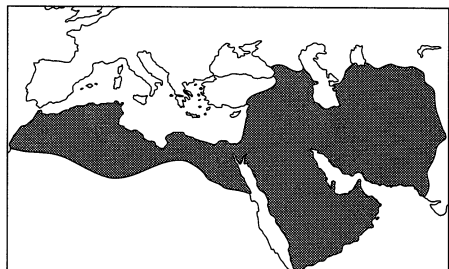
①



②



③



④

問 4 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① ドイツが、3C政策を進めた。
- ② ロシアが、三国同盟を結んだ。
- ③ イギリスが、パナマ運河を開通させた。
- ④ フランスが、アフリカを横断する政策を進めた。

世界史A

B 西アジアは、⑤古くから農業先進地域であった。イスラーム文明の興隆も、その高い農業生産力に支えられていた。しかし、自然環境の悪化や政治的要因などにより、農業はしばしば大きな打撃を受けた。例えば、イラク南部は、古代以来、絶えず塩害の脅威にさらされていた。そのためイスラーム初期には、⑥土壌を改善するために奴隷が使役されたが、酷使に耐えかねた奴隷は9世紀後半に大反乱を起こし、それ以降、イラク南部の農業は衰退した。マムルーク朝後期のエジプトでは、ペストの流行や厳しい⑦地税の取立てなどにより農村は疲弊し、食糧危機が頻発した。

問 5 下線部⑤に関連して、古代の農業先進地域について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① メソポタミアでは、ナイル川流域で、大規模な灌漑農業が行われた。
- ② ガンジス川流域のハラッパーに、都市国家が建設された。
- ③ 古代エジプトでは、太陽暦が用いられた。
- ④ 長江流域では、春秋時代に、稲作が開始された。

問 6 下線部⑥に関連して、農地や農業労働力について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① セオドア・ローズヴェルトは、自営農地法(ホームステッド法)を施行した。
- ② アメリカ大陸では、先住民が激減したため、アフリカから多数の奴隷が輸送された。
- ③ ヨーロッパでは、黒死病(ペスト)の流行の結果、農民の地位が低下した。
- ④ ハンガリーでは、ストルイピンが、農地改革を推進した。

問 7 下線部⑦に関連して、税について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 唐は、両税法を施行した。
- ② インド支配を進めるイギリスは、地税を廃止した。
- ③ ジズヤは、ムスリムに対して課せられた。
- ④ 清は、一条鞭法を創始した。

世界史 A

C ヨーロッパにおいて、⑧小麦などの穀物を原材料とするパンは、主たる食糧であり、文化や政治とも密接に結び付いてきた。中世都市では、パンの公定価格が定められたり、他都市からのパンの輸入が禁止されたりもしていた。19世紀中頃までは、⑨^{ききん}飢饉やパン価格の高騰を一因とする蜂起や革命がしばしば見られたが、19世紀後半には小麦などの生産量が増加し、ヨーロッパでは飢餓がほぼ克服された。しかし、世界的には今日もなお、⑩農業及び食糧問題は重要な政策課題であり、「すべての人々に、パンを！」をスローガンとする国際的な飢餓救済キャンペーンが行われている。

問 8 下線部⑧に関連して、16世紀に農民生活を描いた次の絵の作者として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17

この部分につきましては
著作権処理中の為
現在公開できません

「農民の踊り」

- ① ミレー
- ② ブリュエゲル
- ③ ボッティチェリ
- ④ ルノワール

問 9 下線部⑨に関連して、次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

ア の作家ヴィクトル＝ユゴーの代表作『レ＝ミゼラブル』は、パンを盗み投獄された人物を主人公としている。本作は、作中にも書かれる 1830 年の民衆蜂起をきっかけに成立した **イ** の時期に執筆が開始され、1862 年に出版された。

- ① **ア**－ロマン主義 **イ**－七月王政
- ② **ア**－ロマン主義 **イ**－第三共和政
- ③ **ア**－自然主義 **イ**－七月王政
- ④ **ア**－自然主義 **イ**－第三共和政

問10 下線部⑩に関連して、国家の政策や国家間の取決めについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① イギリスで穀物法が廃止され、自由貿易が推進された。
- ② ソヴィエト政権は、食糧を強制的に徴集する戦時共産主義政策を行った。
- ③ フランクリン＝ローズヴェルトが、農業調整法(AAA)を施行した。
- ④ 世界貿易機関(WTO)に代わって、関税と貿易に関する一般協定(GATT)が成立した。

世界史A

第3問 世界史上の移住や移民について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 21)

A イタリアの少年マルコが、アルゼンチンに出稼ぎに行った母を探す物語「母をたずねて三千里」は、「移民の世紀」と呼ばれる19世紀の時代状況を反映したものである。①当時、イタリアでは大きな政治的・社会的変動が生じており、多くの人々が、②南北アメリカ大陸へ移住した。とりわけアルゼンチンのイタリア系移民は、パンパと呼ばれる大平原において、工業化で人口増加が進むヨーロッパ向けの小麦や牛肉を生産し、独立後の国家の経済を支えた。さらに、タンゴやサッカーといった文化の発展に影響を与えるなど、③アルゼンチンの歴史に大きな足跡を残している。

問1 下線部①に関連して、19世紀のイタリアで起こった出来事について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

イタリアは、**ア** 王国を中心に統一されたが、新しい政治体制や社会の変化に反発した人も少なくなかった。特に、**イ** の赤シャツ隊によって軍事的に征服された南部からは、貧困問題もあって、多くの人々が移民として流出した。

- ① アーサルデーニャ イーガリバルディ
- ② アーサルデーニャ イーマッツィーニ
- ③ アー両シチリア イーガリバルディ
- ④ アー両シチリア イーマッツィーニ

問 2 下線部②に関連して、次の年表に示した a～d の時期のうち、アメリカ合衆国において東欧からの移民が急速に増加し始めた時期として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

a	1790 年 帰化の条件を定めた帰化法が制定される
b	1848 年 カリフォルニアで、金が発見される
c	1924 年 国別の移民割当数を定めた移民法が成立する
d	

- ① a ② b ③ c ④ d

問 3 下線部③について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① クシュ王国が栄えた。
- ② ポルトガルから独立した。
- ③ アジェンデが、社会主義政権を樹立した。
- ④ イギリスとの間に、フォークランド紛争が生じた。

世界史A

B 16世紀以降、④中国人の海外移住が活発化した。東南アジアに渡った者は、ヨーロッパ諸国の商人や現地住民を相手に⑤貿易活動に従事したり、海上武装勢力を形成して広域に活動したりしていた。その後、19世紀後半からは、中国における政治や社会の変化により、大量移住の時期を迎えた。多くの移民は、出稼ぎ労働者であり、⑥列強が海外に築いた植民地などにおいて使役された。なかには、苦力(クーリー)と呼ばれ、就労先において劣悪な条件で労働を強いられる者もいた。彼らの処遇が⑦国際的な政治問題となる事態も発生した。

問 4 下線部④に関連して、世界史上の人物の移動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 漢の張騫が、ベトナムに派遣された。
- ② メッカからメディナへのムハンマドらの移住を、ヒジュラという。
- ③ ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマが、中国に到達した。
- ④ ロシアのイェルマークが、北アメリカに遠征した。

問 5 下線部⑤に関連して、アジアにおける貿易活動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 江戸時代の日本は、対馬(対馬口、対馬藩)を通して、主にアイヌと貿易を行った。
- ② モンゴル帝国の下では、海上貿易が断絶した。
- ③ 琉球王国が、東南アジアと貿易を行った。
- ④ 朱印船貿易を通して、インドに、日本町がつけられた。

問 6 下線部⑥に関連して、世界各国の海外進出について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① スペインとポルトガルとの間で、アンボイナ事件(アンボン事件)が起こった。
- ② フランスが、ブラッシーの戦いで勝利した。
- ③ 19世紀に、ロシアが、広州湾を租借した。
- ④ 第一次世界大戦のとき、ドイツ領南洋諸島が、日本に占領された。

問 7 下線部⑦に関連して、国際的な政治問題となった難民について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26

- a 第1次中東戦争で、パレスチナ難民が発生した。
- b ルワンダでは、ソ連の軍事介入によって、難民が発生した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史A

第4問 世界史上の外交や国際関係について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 21)

A 19世紀半ば、①ドイツ統一を目指していたプロイセンは、同時に、東アジアへの進出も図り、1859年に、オイレンブルク伯爵を代表とする使節団を、タイ、中国、日本へと派遣した。使節団は、日本と条約を結ぶ際、プロイセンが北ドイツ諸邦を一括して代表する形での条約締結を求めた。しかし、ドイツの分裂状況を察知した江戸幕府がこれを拒否したため、1861年に、使節団はプロイセン単独で②日普修好通商条約を締結した。北ドイツ諸邦を統一的に代表するという試みは、ここでは成功しなかったが、使節団が帰国した後、プロイセンの軍事力とその首相③ビスマルクの巧みな外交手腕によって、ドイツ統一が実現することとなる。



プロイセン使節の江戸入り
(使節団の一員が描いたもの)

問 1 下線部①について述べた次の文 a ~ c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 27

- a プロイセン=フランス戦争(普仏戦争)が起こった。
- b プロイセンを中心に、ドイツ関税同盟が成立した。
- c ウィーン会議によって、ドイツ連邦が成立した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問 2 下線部②に関連して、日本と他国との取決めについて述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 28

- ① 日米和親条約により、開国した。
- ② 日英同盟を理由に、第二次世界大戦に参戦した。
- ③ 日清戦争の結果、日清修好条規が締結された。
- ④ 日ソ共同宣言により、主権を回復した。

問 3 下線部③に関連して、ビスマルクの外交上の事績について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 29

- ① ウェストファリア条約を締結した。
- ② オーストリア継承戦争を戦った。
- ③ ベルリン会議を開催し、列強のアフリカ分割を進めた。
- ④ 東方外交(新東方外交)を行い、東欧諸国との関係改善に努めた。

世界史 A

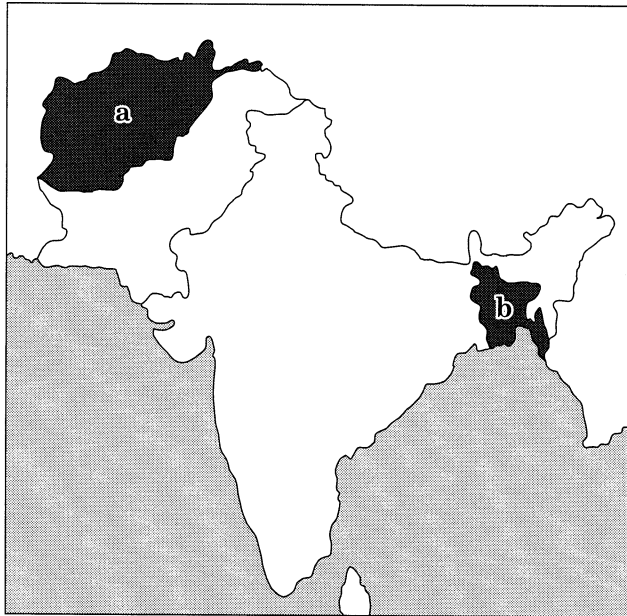
B イギリス植民地支配末期に高まった④ヒンドゥーとムスリム各々の民族主義運動は、1947年のインドとパキスタンの分離独立に帰結した。以来、両国は対立を続けており、その緊張は⑤3度の戦争となって噴出した。1998年に相次いで地下核実験を実施すると、両国の緊張関係は核保有国同士が対峙する新たな段階に移った。⑥核兵器の使用・拡散を抑制する国際体制への参加を拒否する両国に対しては、当初厳しい経済制裁が課された。しかし、市場としてのインドの価値と、⑦アメリカ合衆国の軍事同盟国としてのパキスタンの重要性がそれぞれ高まると、制裁は解除され、両国の核保有は既成事実化した。

問 4 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① ガンディーが、非暴力・不服従運動を指導した。
- ② ベンガル分割令に対して、全インド＝ムスリム連盟が反対闘争を行った。
- ③ アギナルドの下で、プールナ＝スワラージ(完全独立)が決議された。
- ④ ローラット法により、各州の自治が認められた。

問 5 下線部⑤に関連して、第3次インド=パキスタン戦争の結果、1971年にパキスタンより分離・独立した国の名と、その位置を示す次の地図中の **a** または **b** との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31



- ① バングラデシュー a
- ② バングラデシュー b
- ③ アフガニスタンー a
- ④ アフガニスタンー b

世界史 A

問 6 下線部⑥に関連して、次の年表に示した a ~ d の時期のうち、核拡散防止条約(核不拡散条約, NPT)が締結された時期として正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 32

a
1962年 キューバ危機
b
1972年 米ソ首脳、戦略兵器制限交渉(SALT)に調印
c
1987年 中距離核戦力(INF)全廃条約締結
d

- ① a ② b ③ c ④ d

問 7 下線部⑦に関連して、アメリカ合衆国の外交政策について述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 33

- ① パリ和平協定(ベトナム和平協定)に調印して、ベトナムから撤兵した。
- ② イギリスとともに、大西洋憲章を発表した。
- ③ ジョンソン大統領が、中華人民共和国を訪問した。
- ④ トルーマン大統領が、ソ連や共産主義の封じ込めを宣言した。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。